

職種別対話会(民間保育事業者)でいただいたご意見と回答

令和6年9月26日 市役所本庁3階大会議室

NO.	テーマ	参加者の発言	市長の発言	担当課
1	子育て・教育	送迎ステーションを導入することへのメリットとデメリットについて	実際に、他市の場合はバスを循環させているので、児童によっては40～50分バスに乗ることがあり、どうなのかという意見があります。また、一方で皆さんお忙しい中でこのようなサービスがあると、少し駅から離れている保育園等の場合には、保護者の皆様とっても助かる面があると思います。希望されない園に強制的に導入するわけではありませんが、子どもの負担を軽減しながら具体的な制度設計ができないか模索していきたいと思います。	保育課
2		配慮が必要な児童への対応について	発達障害のある児童や、配慮が必要な児童の割合が高くなっていることや、アレルギーの問題など、子ども達が多様化していることは認識しています。この点について、今後どのような対応ができるか考えていきます。	保育課
3		遊具の購入など保育施設環境の整備への支援について	最近では世の中の物価が上がっている中で、対応が難しいという話を伺っています。この点についてもできることを考えていきます。	保育課
4		0歳児の入園の減少による施設運営の圧迫について	0歳児の入園減少は古くて新しい課題であり、特に育休の期間が延びてきた中でこのような問題があることは把握しています。これも課題として認識し、何かできることがないか模索していきたいと思います。	保育課
5		他市と比較した保育士等の処遇改善について	他市の待遇の状況を確認しながら、改善を図っていきます。ただし、継続的な人材の確保に向けては、より広い視点からの対応が必要と思いますので、併せて考えていきます。	保育課
6		保育人材の不足について(看護師や一般事務職の業務負担増、職員の育児休暇への対応を含む)		